



編集

富山大学総務部総務課広報室 〒930-8555 富山市五福3190
tel.076-445-6027 fax.076-445-6033

4

2 0 0 5
A P R I L



富山大学入学式 (4月8日)



個人情報保護に関する説明会 (4月26日)



- 平成17年度富山大学入学式を挙行
- 個人情報保護に関する説明会を開催



入学式の一コマ

CONTENTS



1 学長告辞

平成17年度富山大学入学式を盛大に挙

3 関係法令

4 諸会議



6 学事

個人情報保護に関する説明会を開催

富山大学出版会を設立へ

名誉教授称号を授与



8 学内諸報

日本機械学会賞をダブル受賞

加藤寛隆さん（理工学研究科博士1年）がポスター賞を受賞

教育学部講演会を開催

理学部講演会を開催

入試講演会を開催

韓国南ソウル大学訪問団が来学

平成17年度公開講座がスタート

海外渡航者



12 主要行事

学長告辞

平成17年度富山大学入学式を盛大に挙行

—学部学生1,510名、3年次編入学生69名、大学院生301名、計1,880名の入学を許可—



告辞する瀧澤学長

平成17年10月の再編統合に伴い、現富山大学としては最後となる、平成17年度富山大学入学式が、4月8日(金)午前10時から富山市芸術文化ホールにおいて挙行されました。

式に先立ち、富山大学合唱団による「富山大学歌」(菊池靖雄作詞、森川勝彦作曲、東健治編曲)及び「めばえ」(みずかみかずよ作詞、木下牧子作曲)の合唱があり、会場に和やかな雰囲気をもたらしました。

式では、理事及び関係部局長が列席する中、最初に瀧澤学長が、学部学生1,510名、3年次編入学生69名及び大学院生301名、計1,880名に入学許可を宣言し、「学生生活の中で専門分野の知識や技術を身につけるとともに、世界の動きに対する判断能力を身につけて、21世紀の人類の幸福のために貢献する基礎を養っていただきたい。」旨告辞しました。



宣誓する新入生代表

これに対し、新入生を代表して人文学部国際文化学科の坪谷永美さんが「入学生一同は、在学中、学則を守り、自己の研鑽に努め、さらなる未来への展望を広げるとともに、より一層の学識を深めるよう努力することを誓います。」と宣誓し、厳粛に式を終了しました。

また、式終了後には、富山大学ギターマンドリンクラブが「ツップ オーケストラの為にルンバ」(ディーター・クライトラ作曲)及び「アシタカせつ記」(久石譲作曲、福井真弘編曲)の2曲、続いて富山大学フィルハーモニー管弦楽団が「ラデツキー行進曲」(ヨハン・シュトラウス作曲)及び「威風堂々第1番」(エルガー作曲)の2曲をそれぞれ演奏し、入学生を楽しませました。

なお、学部入学生に対しては、その後、学務部・保健管理センターオリエンテーション及び学生団体オリエンテーションが行われました。

学長告辞 (全文)

富山大学のそれぞれの学部に入学者された皆さん、3年次に編入された皆さん、大学院研究科に進学・入学された皆さんに、心から入学のお祝いを申し上げます。

再来年、2007年には、大学入学希望者と大学入学の総定員の数が同じになり、いわゆる大学全入時代がやっ

てくると言われております。それに向けて年々大学の門が広がってきたのも確かに事実であります。しかし、ここにお集まりの皆さんの数倍もの受験生が富山大学で学びたいという希望を持ちながら、その機会を得られなかったのも事実であります。選ばれて富山大学の学生となった皆さんは、このことを自覚し、学生として勉学に励んでいただきたいと思います。

さて、富山大学は、半年後の10月1日に、富山県内の富山医科薬科大学・高岡短期大学と統合して、総合大学として新しい富山大学に生まれ変わるようになっております。名称は同じ富山大学ですが、国際的には Toyama University から University of Toyama に変わります。日本の大学が設立に際して範としたヨーロッパの大学も、その長い歴史の中で、総合大学への道をたどってきました。大学が学問研究・教育を目的とする以上、総合大学への道は必然であり、私たちも同じ立場で進めてきました。しかし、大学の統合は、民間企業や市町村の合併とは違って、2つの大学・1つの短大をまとめて1つにするだけでは意味がなく、統合によって、新しい研究分野の創設など研究体制を強化し、学生の教育環境を充実させ、多くの社会的な貢献が出来る大学にならなければなりません。国立大学は昨年4月に法人化されましたが、今回の統合は、法人化後の初めての統合であり、全国的に注目を浴びております。その中で私たちは、精力的に新しい大学に生まれ変わるための準備を続けてきました。

皆さんの入学後間もなく、新しい富山大学に変わりますが、しかし、決して現在の富山大学がなくなるのではなく、皆さんは、現在の富山大学の学部や大学院研究科の教育課程のもとで学び、現在の富山大学の卒業生となります。一部、学部の名前が変わる学部もあり、例えば教育学部は人間発達科学部となりますが、皆さんは教育学部の学生として教育を受け、富山大学教育学部の卒業生となります。ただ、1つの大学になることによって、図書館の相互利用や、サークル活動、大学祭などの行事で、現在の富山医科薬科大学や高岡短期大学の学生達との交流も行われる場面も多くなり、専門分野の異なった学生達との交流は、学生としての人間形成に少なからぬ意味を持つものと信じております。

次に、学生となった皆さんに是非理解していただきたいことがあります。それは、大学での勉学は、高校までの勉強とまったく異なるということです。皆さんは、幼稚園や保育園・小学校・中学校・高校を通じて、文部科学省が定めた教育課程を、文部科学省が検定した教科書を使って、教員免許状を持った先生によって教育を受けてきたわけですが、大学には、国が定めた指導要領もなく、文部科学省が検定した教科書もなく、もちろん、大学の教員には、教員免許状というものはありません。これから皆さんの教育にあたる教員は、それぞれの分野で研究者として研究業績に基づいて評価を受けた教員であり、どんな基礎的な分野の授業を担当する教員も、まず研究者として活動する一方、独自の考えに基づいて教科書を選定し、原則として独自の考えに従った教育を行っています。

もう一つ、ぜひ理解していただきたいことがあります。それは、学部での専門分野の勉学とともに、一見専門の勉学と関係がないように見えるかも知れない、いわゆる教養科目の勉学が必要だということです。高い専門知識や技術を持っていても、広い視野を持たない限り、社会の変動に対して批判する能力がなく、的確な対応が出来ません。富山大学ではこうした能力の養成を、全学の教員がそれぞれの専門分野の研究を生かして担当するいわゆる教養教育によって実現することを目指しています。富山大学が専門教育とともに教養教育を重視していることを理解して、皆さんは学生生活の中で専門分野の知識や技術を身につけるとともに、世界の動きに対する判断能力を身につけて、21世紀の人類の幸福のために貢献する基礎を養っていただきたいと思います。

さて、今、同世代人口の約半数近くが高等教育を受ける時代になっております。一方で、皆さんの世代の半数以上の方々が、実社会の中で働いてこの社会を支えています。学生は勉学に励むことによって、こうして働いている同世代の方々に報いる責任があります。皆さんは学生として社会に甘えてはならず、最初は苦しいかも知れませんが、勉学を続け、やがて学問の楽しさを知り、社会的責任を果たしうる人間に成長していただきたい。

今述べたことは大学院に進学した皆さんには、当然のこととしてお分かりのことだったでしょう。皆さんにお話したいことがあります。富山大学は、55年を超える歴史の中で、多くの有為の人材を世に送り出して来まし

た。なかでも、かなりの数の研究者を育ててきました。その数は、この規模の地方大学としては、全国に誇りうるものです。今、全国各地の大学や研究機関で皆さんの先輩達が、教育に研究に従事し、高い業績をあげています。大学は研究者を育てることだけを目的にしているわけではありませんが、富山大学はこうした研究者を育てる能力を持った大学であることを理解し、誇りを持って研究に励んでください。

終わりに、本日富山大学の学生となった皆さんは、勉学に励む傍ら文学や芸術に親しみ、スポーツ活動にも青春の情熱をそそいで、悔いのない学生生活を送ってください。

本日の入学を心からお祝いして、入学式の告辞といたします。

平成17年4月8日

富山大学長 瀧澤 弘

関係法令

(政 令)

- 文部科学省組織令の一部を改正する政令（115）（平17.4.1官報号外第73号）
- 国家公務員共済組合法施行令等の一部を改正する政令（118）（平17.4.1官報号外第73号）
- 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令（129）
（平17.4.1官報号外第73号）

(省 令)

- 文部科学省組織規則の一部を改正する省令（文部科学27）（平17.4.1官報号外第73号）
- 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係省令の整備等に関する省令（文部科学29）
（平17.4.1官報号外第73号）
- 幼稚園設置基準の一部を改正する省令（文部科学32）（平17.4.1官報号外第74号）
- 独立行政法人大学入試センターに関する省令の一部を改正する省令（文部科学34）
（平17.4.28官報第4084号）

(告 示)

- 平成17年度における教科書展示会の開始の時期及び期間を指示する件（文部科学63）
（平17.4.20官報第4078号）



諸会議

●役員会 [4月11日]

(審議事項) (1) 「夢大学 in とやま2005」(仮称)の提案について

●教育研究評議会 [4月15日]

(審議事項) (1) 富山大学学長選考会議委員の選出について
(2) 学内規則の廃止について
(3) 富山大学名誉教授称号授与について

●部局長等連絡会 [4月15日]

(懇談事項) (1) 当面する諸課題について

●事務協議会 [4月19日]

(審議事項) (1) 当面する諸課題について

●新大学創設富山大学準備委員会 [4月22日]

(審議事項) (1) 新富山大学の学長選考について

●学生生活委員会 [4月26日]

(審議事項) (1) 平成17年度入学料免除者の選考について
(2) 大学祭について

●衛生委員会 (五艘地区) [4月27日]

(協議事項) (1) 五艘地区の疲労蓄積度自己診断の結果報告
(2) 衛生管理者等による職場パトロールの結果について

●衛生委員会 (五福団地) [4月28日]

(協議事項) (1) 産業医パトロールについて
(2) 各部局職場パトロールについて
(3) 平成17年度産業医職場パトロール計画(案)について

学内規則

新たに制定された学内規則は、事務局総務部総務課ホームページ（学内利用者専用）に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

「学内規則等改正等通知一覧」

<http://www.intra.adm.toyama-u.ac.jp/soumu/somuka/kisoku/tophouki.html>

人事異動

教職員の人事異動については、事務局総務部人事労務課ホームページ（学内利用者専用）に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

「人事異動通報」

<http://www.intra.adm.toyama-u.ac.jp/soumu/jinjika/index.html>

学 事

個人情報保護に関する説明会を開催

4月26日(火)、教職員を対象とした個人情報に関する説明会が黒田講堂ホールで開催されました。

これは、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」の施行にあたり、業務の適正かつ円滑な運営を図るため、個人情報保護制度についての理解を深めることを目的として行われたもので、経済学部の中野萩野教授が個人情報の保護に関する法制度と個人情報保護法の内容について、具体例をあげながらわかりやすく説明されました。

県内他機関からの参加者を含む約200名の参加者は、熱心に聞き入り、法の目的や個人情報の取扱いにおいて守るべきルール的重要性などをあらためて認識した様子でした。



熱心に説明を聞く参加者

新大学設置を見据え、8月末に「富山大学出版会」設立へ

4月26日(火)、本年10月の新「富山大学」発足を見据え、8月末をめどに有限責任中間法人「富山大学出版会」を設立する方針を発表しました。

出版会は、瀧澤弘学長をはじめ各学部長や教員、地域の有識者など、学内外の賛同者の協力を得て組織され、本学教員の学術書発刊支援など、文化的水準の高い情報発信拠点の構築を目指すもので、同出版会は、北陸地区の国立大学では初の設立となります。

また、発刊する刊行物は、教員の研究書や教養書、啓蒙書、大学教科書などのほか、学外からの寄稿や出版要請にも対応し、書籍の著者に対しては、出版時の自己負担を求めないことにしています。今後は本年6月に準備会を立ち上げ事業計画を詰めるほか、出版活動の準備も進め、10月に第1弾の出版物発刊を計画しています。



記者会見の様相

8名の方々に富山大学名誉教授称号記を授与

本年3月末をもって退職され、本学名誉教授の称号を授与することが決定されていた8名の方々に、4月28日(木)に瀧澤学長から称号記が授与されました。

新たに名誉教授となられた方は次のとおりです。

石原(山本)都久氏 (元教育学部 教授)

田中 晋氏 (元教育学部 教授)

塚野 州一氏 (元教育学部附属教育実践総合センター 教授)

榊原 英夫氏 (元経済学部 教授)

増田 信彦氏 (元経済学部 教授)

黒田 英世氏 (元理学部 教授)

小林 武彦氏 (元理学部 教授)

渡辺 國昭氏 (元水素同位体科学研究センター 教授)



新たに名誉教授となられた方々を囲んで

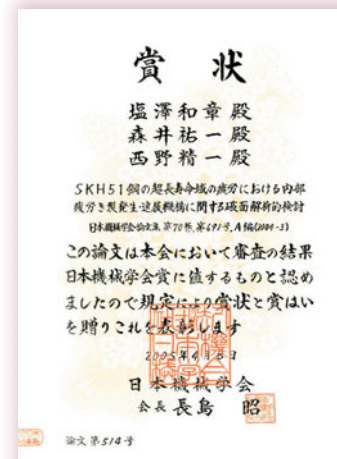
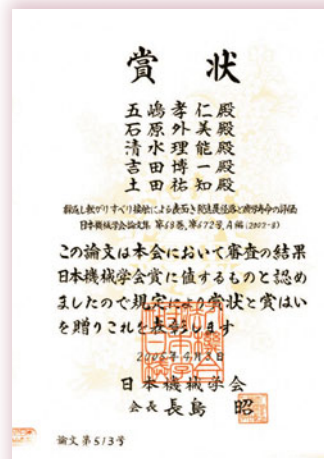
学内諸報

平成16年度日本機械学会賞に富山大からダブル受賞

4月8日(金)、日本機械学会第82期通常総会において、塩澤和章理事・副学長、西野精一工学部助教授、森井祐一さん(卒業生)は「高強度鋼の超長寿命域疲労」、五嶋孝仁工学部教授、石原外美工学部教授、清水理能工学部助手、吉田博一さん(卒業生)、土田祐知さん(卒業生)は「接触面のき裂損傷」に関する研究論文で平成16年度日本機械学会賞(論文・材料力学部門)を受賞しました。

この受賞は、乗り物や工業製品の安全な設計確立に貢献が期待され、その価値が高く評価されたものです。また、今回の論文・材料力学部門3件の受賞のうち2件が富山大学であり、学会によると、一つの大学で、かつ同じ分野での複数受賞は珍しいということです。塩澤理事・副学長は、「高強度鋼の超長寿命域疲労」に関する一連の研究で14年度に日本機械学会賞、15年度に日本材料学会賞と、3年連続の学会賞受賞となりました。

受賞されたみなさんは「安全の根幹を支える基礎研究であり、今後、産学連携を進め、応用研究に結び付けたい。」と話しています。



加藤寛隆さん(理工学研究科博士1年)がポスター賞を受賞

4月1日(金)から3日(日)にかけて熊本大学工学部で開催された電気化学会第72回大会において、本学大学院理工学研究科博士前期課程・物質生命システム工学専攻(生命工学講座篠原研究室)1年の加藤寛隆さんが、優秀なポスター発表に贈られるポスター賞を受賞しました。

発表テーマは、「ケミカルCCDを用いたターゲットDNAの高感度ハイブリダイゼーション検出」で、京都の(株)ホリバ・バイオテクノロジー社との共同で、界面電位を計測する新しい半導体デバイスの表面にDNAプローブを固定化し、特定の遺伝子断片を迅速簡便、かつ極めて高感度に計測する遺伝子センサに関する研究成果を発表したものです。研究のオリジナリティと癌の遺伝子診断や遺伝子組み換え食品の検査などの簡便化へつながる期待、そして彼のしっかりした発表および応答の態度が高い評価を得ました。



ポスター賞を受賞した加藤さん

教育学部講演会「視覚障害学生受け入れに向けて」を開催

教育学部では4月6日(水)同学部大会議室において、筑波技術短期大学障害者高等教育センターの黒川哲宇教授及び長岡英司教授を講師に迎え、「視覚障害学生受け入れに向けて」と題して講演会を開催しました。

この講演会は、今年度学校教育教員養成課程に視覚に障害を有する学生が入学することとなり、聴覚及び視覚障害者の特性と学生の個性に即した新しい教育方法・教育機器・システムを開発し、障害者の学習支援などを行っている同センターに助言を依頼したものです。両教授は、学生の入学後の授業、自宅学習、レポートや期末試験などの就学あるいは学生生活を支援するに当たり、どのような配慮が求められるのか等について具体的な事例をあげて講演されました。

当日は、教育学部教職員のほか他学部等からの参加者を含め約90名が参加し、講演終了後には熱心な質問が出されるなど、大変有意義で実りのある講演会となりました。



講演する黒川教授



講演する長岡教授

ゴールデンウィーク特別講演会を開催

4月28日(木)、理学部主催の富山大学ゴールデンウィーク特別講演が黒田講堂ホールで開かれ、石井志保子東京工業大学教授が「大学の数学に向けて～ $1+1=3+6$ の世界～」と題して講演しました。

石井教授は、石井隆一富山県知事夫人で富山県高岡市出身、専門は代数幾何学。1995年(平成7年)には優れた女性科学者に贈られる「猿橋賞」を受賞しています。

講演では、(1)極限とは何か、(2)無限にもいくつかあるのか、(3) $1+1=3+6$ は間違いか、の3つをテーマに、足し算と引き算のどちらが先に考えられたかなど、数学にまつわる難問、奇問を例に挙げ、「標数 n の体」の原理をわかりやすく解説、この世界では $n=7$ のとき $1+1=3+6$ が成り立つことを紹介されました。また、この考えが最近のセキュリティ対策などに応用されていることも紹介し、「数学は何かの役に立てるためにやるのではない、数学そのものに面白さや美しさがある。結果として応用されることもあると考えてほしい。」と強調されました。

当日は、本学の学生や教職員、高校・中学の数学教員など250名余が聴講し、講演終了後の質疑応答も活発に行われるなど、聴衆の関心の高さが伺え、有意義な講演会となりました。



講演する石井教授

入試に関する講演会を開催

4月20日(水)、入学者選抜方法研究委員会(委員長－塩澤和章理事・副学長)主催による「入試に関する講演会」が黒田講堂会議室で開催されました。

これは、平成17年度志願者数が対前年度21%の大幅減少を受け、その原因の分析と今後の対応策検討に向けて行われたもので、(株)ベネッセコーポレーション及び(株)進研アドから進路指導に関する専門家を招き、富山県内高校のみならず北陸・東海地区を始め全国にわたる豊富なデータを駆使し、入試に関する高校の現況など最新の動向とその分析等について説明を受けました。

会場は危機意識を持った教職員で埋め尽くされ、今後の取り組みに向けて示唆に富んだ提言に熱心に耳を傾けるとともに2007年全入の時代への大学間競争の厳しさについて認識を新たにしました。



講演会の模様

韓国南ソウル大学訪問団が来学

4月1日(金)に韓国の南ソウル大学から孔 貞子(グオン ジョンジャ)総長のほか3名の訪問団が本学を訪問されました。

今回の訪問は、高岡短期大学及び本学の教育事情視察並びに本学との大学間学術交流協定締結の意向を伝えるために学長表敬訪問されたもので、瀧澤学長及び塩澤理事・副学長のほか西頭高岡短期大学長の同席のもと、大学紹介及び今後の大学間交流等について懇談されました。

一行は、この後塩澤理事・副学長の案内のもと五福キャンパスの各施設見学をされました。



韓国南ソウル大学訪問団

平成17年度公開講座がスタート

4月2日(土)、富山駅前CiCビルにおいて富山大学サテライト公開講座が開講されました。今年度初回は教育学部の神川康子教授が「春眠暁を覚えず」と題して講義を行い、定員を超える約60名の受講生が熱心に耳を傾けました。

平成17年度(前期)に開講される富山大学公開講座の科目はこちらのホームページをご覧ください。

公開講座：<http://www.life.toyama-u.ac.jp/koza/extension.html>

サテライト公開講座：<http://www.toyama-u.ac.jp/jp/News/info/s05.pdf>

海外渡航者

渡航区分	所属名	職名	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	工学部	教授	堀田 裕弘	アメリカ合衆国	VQEG(国際映像品質専門家グループ)アリゾナ会合への出席及び研究資料収集	H17.4.22～ H17.5.1
	教育学部	教授	浅沼 照雄	ドイツ	ワークショップ「可換代数学」に参加し研究打ち合わせ	H17.4.23～ H17.5.2
	理学部	助教授	張 勁	オーストリア	Geotraces SCOR meeting への出席及び研究情報収集、EGUでの研究発表	H17.4.27～ H17.5.4
海外研修	工学部	教授	森 克徳	中国	第8回超伝導会議での研究発表	H17.4.6～ H17.4.11
	人文学部	助教授	中井 精一	韓国	慶北大学との共同研究	H17.4.13～ H17.5.6

4月主要行事

事務局

- 4月 1日 韓国南ソウル大学訪問団表敬訪問
- 2日 富山駅前サテライト公開講座
- 4日 事務局連絡会
大学推薦による国費外国人留学生選考委員会
- 5日 企業合同説明会（於：学生会館）
新大学：管理運営部会学長選考WG
新大学：大学院部会
- 6日 経営戦略WR
平成17年度入学生学部（教養教育）オリエンテーション
- 7日 平成17年度入学生学部オリエンテーション
- 8日 富山大学入学式（於：富山市芸術文化ホール）
- 9日 高岡駅前サテライト相談事業
- 11日 前学期授業開始
役員会
新大学：大学院部会大学院（医薬理工系）WG及び新大学構想TF合同会議
- 12日 新大学：機構・センター部会知的財産WG
新大学：学部教育・学生支援部会国際交流WG
- 13日 国家公務員業務等説明会（於：黒田講堂）
放射性物質管理委員会（持ち回り）
- 14日 新大学：管理運営部会学長選考WG
知的財産戦略室会議
- 15日 教育研究評議会
部局長等連絡会
- 16日 富山駅前サテライト公開講座
- 18日 役員懇談会
事務局連絡会
新大学：広報部会ポスター・冊子WG
新大学：管理運営部会環境安全衛生管理WG
- 19日 事務協議会
富山県インターンシップ合同会議等（於：富山商工会議所）
- 20日 入試に関する講演会（於：黒田講堂）
新大学：管理運営部会ヘルプライン整備WG
新大学：中期目標・中期計画部会中期目標・中期計画WG
産学官連携推進室会議
- 21日 北信越地区国立大学附属図書館協会総会（於：上越）
新大学：管理運営部会
- 22日 目標評価PJ
東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会連絡会（於：名古屋大学）
新大学：機構・センター部会地域連携推進機構WG地域づくり・文化支援、
施設開放部門分科会
- 新大学創設富山大学準備委員会
国際交流WR会議
「夢大学 in とやま 2005 オープンキャンパス」企画会議
- 25日 役員懇談会
大学等就職問題連絡会議（於：高志会館）
新大学：広報部会ポスター・冊子WG
- 26日 個人情報保護に関する学内説明会（於：黒田講堂）
学生生活委員会

- 26日 新大学：学部教育・学生支援部会国際交流WG
新大学：大学院部会大学院（医薬理工系）WG及び新大学構想TF合同会議
- 27日 衛生委員会（五艘地区）
新大学：学部教育・学生支援部会学生支援WG
- 28日 名誉教授称号授与式
衛生委員会（五福団地）
経営戦略WR

教養教育

- 4月 5日 新入生オリエンテーション（教養教育）担当教員打ち合わせ会
- 7日 教養教育院例会
- 14日 教養教育院作業部会
- 20日 社会科学系部会
- 21日 教養教育院例会

人文学部

- 4月 2日 大学院人文科学研究科入学者選抜検査（第2次）
- 4日 研究科委員会
学部教務委員会
- 8日 学部教務委員会
学部国際交流委員会
- 12日 学部入学試験委員会
- 13日 研究科委員会
教授会
学部情報処理委員会
- 19日 学部就職委員会
- 20日 学部教務委員会
- 21日 学部学生生活委員会
- 26日 学部総務委員会
- 27日 講座代表者会議
将来計画委員会

教育学部

- 4月 6日 講演会「視覚障害学生受け入れに向けて」
学部教務委員会
学部新入生オリエンテーション（教養教育）
附属小学校第1学期始業式
- 7日 学部学生生活委員会
学部新入生オリエンテーション（専門教育）
附属小学校入学式
附属中学校第1学期始業式
附属養護学校第1学期始業式
- 8日 大学院新入生オリエンテーション
附属養護学校入学式
附属中学校入学式
附属幼稚園第1学期始業式
- 12日 学部国際交流委員会
附属幼稚園入園式

13日	研究科委員会小委員会 研究科委員会 教授会 人事教授会
14日	学部学生生活委員会
16日	新入生合宿研修（於：国立立山少年自然の家）（～17日）
20日	介護等体験オリエンテーション 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会・研究推進委員会 人間発達科学部入試方法の検討に関するWG
25日	教育方法改善委員会
27日	配分比率評価委員会 人間発達科学部入試方法の検討に関するWG

経済学部

4月	4日	入学試験委員会
	5日	教務委員会 研究科委員会小委員会
	6日	学科長会議 学部インターンシップ担当者会議 学部学生生活委員会 社会連携推進委員会
	8日	財務委員会 研究支援委員会 情報処理委員会
	12日	情報処理委員会 国際交流委員会
	13日	人事教授会 研究科委員会 教授会
	20日	目標・評価委員会
	22日	FD委員会 就職指導委員会 社会連携推進委員会
	27日	学科長会議
	28日	研究科委員会小委員会

理学部

4月	6日	教養教育に関する理学部オリエンテーション 学部自己点検評価委員会 学科長会議
	7日	専門教育に関する理学部オリエンテーション
	8日	博士前期課程学生オリエンテーション
	12日	学部入試委員会
	13日	大学院理工学研究科博士前期課程理学部会 教授会 人事教授会 大学院理工学研究科博士後期課程部会

22日	関東駿信越理化学部長会議（当番校：埼玉大学）（～23日）
27日	学部安全管理委員会排水安全専門委員会 学科長会議 学部安全管理委員会 大学院理工学研究科博士後期課程部会
28日	特別講演会「大学の数学に向けて～1+1=3+6の世界～」(数学科主催)

工学部

4月	5日	学部教務委員会
	13日	教授会
	19日	工学部創造工学センター運営委員会
	21日	学部電子広報委員会
	22日	学部入学試験検討委員会
	25日	学部教務委員会
	27日	学部運営委員会 教授会 理工学研究科博士前期課程工学部会 理工学研究科博士後期課程部会（工学系）

地域共同研究センター

4月	14日	運営委員会
	15日	イブニング技術交流サロン(於：カナルパークホテル)
	19日	運営委員会(持ち回り)
	28日	運営委員会(持ち回り)

留学生センター

4月	6日	学部外国人新入生に対するオリエンテーション（～7日）
	8日	日本語研修コース開講式
	15日	新規来日留学生(研究生、科目等履修生、聴講生等)に対するオリエンテーション

水素同位体科学研究センター

4月	12日	運営委員会
	27日	運営委員会(持ち回り)

極東地域研究センター

4月	1日	運営委員会(持ち回り)
----	----	-------------



極低温量子科学研究センター

4月 20日 寒剤の取扱いに関する講習会



ベンチャービジネスラボラトリー

4月 14日 VBL幹事会
20日 運営委員会

編集 富山大学総務部総務課広報室
〒930-8555 富山市五福 3190 TEL.(076)445-6027 FAX.(076)445-6033